

中心市街地グランドデザイン まちづくりワークショップ実施結果

中心市街地の目指す将来像やまちづくりの方向性を示す計画である「中心市街地グランドデザイン」を策定するにあたり、様々な立場から中心市街地のまちづくりについて考えていただくためにワークショップを開催しました。

ワークショップは「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「活力があるまち」というテーマごとにグループワークを行い、まちづくりのアイデア出しを行いました。

今後、このワークショップでとりまとめた結果を参考に中心市街地グランドデザインの策定を進めていきます。

第1回 中心市街地の魅力と問題点を考えよう！

【日 時】2021年7月25日（日） 10：00～12：00

【会 場】小牧市役所 東庁舎5階 大会議室（※第2、3回についても同会場）

【参加者数】23人

【プログラム】・中心市街地の現状分析

- ・中心市街地の魅力と問題点の抽出（グループワーク）
- ・発表、とりまとめ

A 班



B 班



C 班



【ワークショップで出た意見（一部抜粋）】

- ・こまきこども未来館、中央図書館など人が集まる施設がオープンした。
- ・小牧山や社寺など、地域に歴史資源が豊富。
- ・若い世代が多い、子育てしやすい。
- ・シンボルロードは歩道も広く、景観もいい。
- ・飲食店が少ない。
- ・新しい施設や歴史に関する情報発信が不足している。
- ・市外からのアクセスがしにくい。

第2回 まちづくりの取組を考えよう！

【日 時】2021年8月22日（日） 10：00～12：00

【参加者数】20人

【プログラム】・第1回目の振り返り

- ・魅力を伸ばす/問題点を改善する取組案の抽出（グループワーク）
- ・発表、とりまとめ

A 班



B 班



C 班



【ワークショップで出た意見（一部抜粋）】

- ・既存施設や歴史文化資源の活用や改善
- ・コミュニティの活性化
- ・知名度の向上や若い世代に向けた情報発信
- ・歩いて楽しむことができる工夫
- ・公共空間の整備と活用
- ・交通利便性の向上

第3回 まちづくりのアイデアを取りまとめよう！

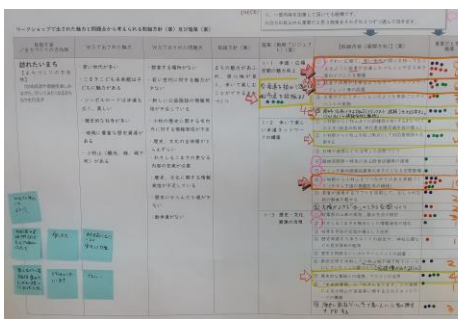
【日 時】2021年10月3日（日） 10：00～12：00

【参加者数】20人

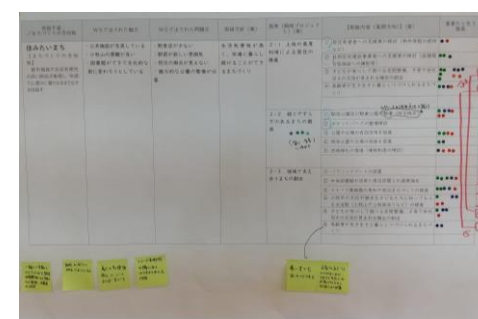
【プログラム】・第2回目の振り返り

- ・取組案の確認と重要だと思う施策の選定（グループワーク）
- ・発表、とりまとめ

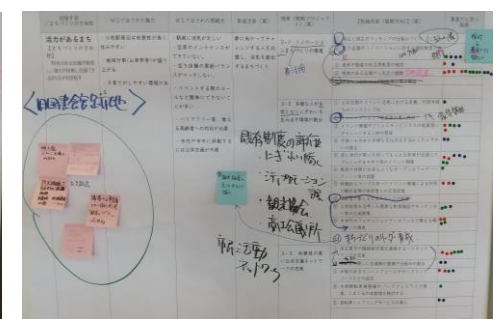
A 班



B 班



C 班



【ワークショップに参加した感想（一部抜粋）】

- ・重要だと思う施策が参加者で一致しており、足りていない部分が認識できたと思う。
- ・市政やまちづくりに関わることができたと感じ、今後も自分が住んでいるまちに関心を持っていきたい。
- ・多方面の意見があり、参考になったと同時にまちづくりの難しさを感じた。

※ワークショップのとりまとめ結果については別紙のとおり

ワークショップで出された魅力と問題点から考えられる取組方針及び施策（案）

訪れたいまちグループ（A班）

※第3回のワークショップで、重要と考えられた施策を□で囲ってあります。

目指す姿／まちづくりの方向性	WSで出された魅力	WSで出された問題点	取組方針	施策（案）	取組内容（案）
訪れたいまち	- 若い世代が多い - こまきこども未来館は子どもに魅力がある - シンボルロードは歩道も広く、美しい - 歴史的な社寺が多い - 地域に豊富な歴史資源がある - 小牧山（観光、緑、城下町）がある	- 飲食する場所がない - 若い世代に対する魅力が少ない - 新しい公益施設の情報発信が不足している - 小牧の歴史に関する市内外に対する情報発信が不足 - 歴史、文化の全体像がとらえづらい - れきしるこまきの更なる内容の充実が必要 - 歴史、文化に関する情報発信が不足している - 歴史にからんだ小道が少ない - 散歩道がない	地域資源や景観などの魅力を活かし、歩いて楽しむことができるまちづくり	1-1 歩道・広場空間の魅力向上	①にぎわい広場で、若い世代が関心を持ってもらえるように若者が企画したマルシェやまち歩き等のイベントを開催
					②飲食や休憩が出来るようなオープンカフェやパークレット等の設置
					③冬季のイルミネーションのような季節ごとのイベントの実施
					④常時活用できる施設（トリックアート、迷路）等を設置する
					⑤車道を狭めて透水性のある歩道を拡幅する
				1-2 歩いて楽しい歩道ネットワークの構築	①小牧駅から小牧山までの距離感を短くするまちづくりの工夫（街並み形成、歩行者支援交通手段の導入）
					②小牧駅から小牧山を結ぶ拠点として旧図書館跡を活用する
					③石碑や道標などを活用した空間づくり
					④路地空間等へ特色のある飲食店舗等の誘導
					⑤サインや案内誘導設置等の歩きたくなる空間整備
					⑥小牧駅から小牧山までつながりのある景観づくり（やすらぎ道の景観形成の継続）
					⑦若者が使用するアプリを活用して、おしゃれな紹介動画を載せる
					⑧木陰ができる「ほっ」とできる空間づくり
				1-3 歴史・文化資源の活用	①秋葉祭の山車の保存、展示方法の検討
					②れきしるこまきを拠点とした情報発信の強化
					③社寺を市民の交流の場として活用
					④歴史周遊まち歩きルートの設定や、神社仏閣などの見学資料の配布
					⑤歴史を物語るシンボルモニュメントの設置
					⑥駅前空間を活用して（全体像がわかるように）小牧山城や城下町でテーマにしていたミニ公園づくり
					⑦歴史的な番組との連携、マスコミの活用
					⑧「中央図書館」と「れきしるこまき」との連携による小牧山や信長等に関するSNSネットワークの構築
					⑨歴史に関するゲーム等で若い人へ小牧の歴史をPRする

住みたいまちグループ（B班）

目指す姿／ まちづくりの方向性	WSで出された魅力	WSで出された問題点	取組方針	施策（案）	取組内容（案）
住みたいまち	・公共施設が充実している ・小牧山の景観が良い ・図書館ができて文化的な街に変わろうとしている	・飲食店が少ない ・駅前が寂しい雰囲気 ・防災の拠点が見えない ・魅力的な公園の整備が必要	都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせることができるまちづくり	2-1 土地の高度利用による居住の推進	①居住希望者への支援策の検討（物件情報の提供など）
					②共同住宅建設事業者への支援策の検討（店舗複合型施設への補助等）
					③子どもが安心して遊べる空間整備、子育て世代同士の交流が育まれる機会の創出
					④高齢者が生き生きと暮らしつつけられるまちづくり
				2-2 緑とやすらぎのあるまちの創造	①駅西公園及び駅東公園のスペースの活用方法の検討
					②ポケットパークの整備検討
					③公園や広場の有効活用を促進
					④既存公園や広場の改修を促進
					⑤民地緑化の推進（補助制度の検討）
				2-3 地域で支え合うまちの創出	①パブリックアートの設置
					②中央図書館の活用と周辺空間との連携強化
					③メナード美術館の周知や周辺まちづくりの推進
					④小牧市の文化や歴史を子どもたちに知ってもらえる活動（小牧山や上街道巡りなど）の推進
					⑤子どもが安心して遊べる空間整備、子育て世代同士の交流が育まれる機会の創出
					⑥高齢者が生き生きと暮らしつつけられるまちづくり

活力があるまちグループ（C班）

目指す姿／まちづくりの方向性	WSで出された魅力	WSで出された問題点	取組方針	施策（案）	取組内容（案）
活力があるまち	- 小牧駅周辺は利便性が高く住みやすい - 地域行事（山車祭等）が盛り上がる - 子育てがしやすい環境がある	- 駅前に活気が乏しい - 空家のメンテナンスができていない。 - 空き店舗の需給バランスがマッチしない。 - イベントする際のルールなど簡単にできないことが多い - バリアフリー等、増える高齢者への対応が必要 - 市内や市外に移動するには公共交通が不便	特色のある店舗等が集積し、新たな発見や出会いがありチャレンジを応援するまちづくり	3-1 リノベーションまちづくりの推進	①貸主と借主のマッチングの仕組みづくり ②空き店舗のリノベーションに対する補助制度の検討 ③遊休不動産の利活用制度の検討 ④特徴のある店舗や人気店の立地促進
				3-2 多様な人が主役となりにぎわいを生み出す環境の創出	①公共空間のイベント活用における支援、行政手続きのワンストップ化
					②チャレンジショップ制度等の導入検討
					③イベント開催やコミュニティビジネスの起業等にチャレンジする人材の育成
					④外国人も含めた多様な文化共生を活かしたにぎわいの創出
					⑤若い世代が関心を持ってもらえる若者が企画したマルシェやまち歩き等のイベント開催
					⑥飲食や休憩が出来るようなオープンカフェやパークレット等の設置
					⑦特徴的なテーマを持ったイベント開催による市民と観光客等の来街者との交流促進
					⑧高齢者が集える交流スペースの配置
					⑨公有地等を活用した簡易な飲食施設やキッチンカー等の立地誘導
					⑩多世代カフェやコミュニティカフェなど集える場づくりの推進
					⑪まちづくりのリーダー育成
				3-3 利便性の高い公共交通ネットワークの充実	①名古屋市や隣接都市間を連絡するバスネットワークの充実
					②人に優しい交通網の整備や仕組みの創出
					③木陰のあるランニングコースやサイクリングコースなどの設定
					④大規模駐車場整備やパークアンドライド推進、こまくるの本数増を検討する
					⑤自転車シェアリングサービスの導入